



# しずく

No.  
**121**  
2022.4

●編集●  
広報広聴常任委員会  
●発行●  
岩手県雫石町議会

## 議会だより

●今号の主な内容

特集 町民の声が響くまち…2

3月定例会…8

町政を問う

一般質問 10議員が質問…12

委員会レポート…20

ふるさとへの便り(87)…23

●今号の表紙 / なかよしシリーズ16

「わたしたち3きょうだい」…24

# 町民参加型の 議会を目指す

あなたの声を  
政策に反映します

止まらない人口減少。  
町として  
やっつけていけるの。

小志戸前 鮎さん 山津田



少数者の要望にも  
すぐやる課的  
対応を。

齊藤 健二さん 上町一



企業誘致で、  
雇用確保、  
定住できる町に。

山本 さとみさん 篠崎



コロナが終息したら  
沢山の人に雪石に  
観光に来てほしい。

徳田 周一さん 元御所



# 郷音くまち

通学路の  
安全確保を  
してほしい。

小谷地 昇さん 中沼



通学バスの  
バス停が近所に。  
便利で感謝。

東 淳樹さん 矢櫃



シニア世代の  
雇用促進にも力を  
入れてほしい。

高橋 美紀男さん 東町



子ども達が安心して  
遊べる場所を  
増やしてほしい。

上和野 真央さん 上和野



「平石から世界をめざす」  
が目標です。もつとスポー  
ツ競技者育成に町が全力  
で取り組んでほしい。

伊藤和飛さん 一鶯宿



各産業の後継者育  
成に取り組むこと  
を期待します。

徳田一夫さん 二元御所



矢櫃地区への  
町水道の整備を  
お願いします。

高橋敏幸さん 一矢櫃



少子高齢化でも  
安心安全な地域  
づくりの支援を。

加藤浩之さん 一野中



旧小学校などを活用  
して冬場の練習場  
にしてほしい。

藤原理一郎さん 一林



# 町民の声

公園のように子どもと一  
緒に遊べる屋内施設があ  
ればいいと思います。

階 祐子さん 一中町一



街中から外れると、  
暗すぎ、防犯灯や  
街路灯増やして。

高橋楓さん 一安庭



次のページは  
令和4年度 予算特集

# 令和4年度予算特集

令和4年度予算特別委員会（堂前義信委員長、徳田幸男副委員長）は、令和4年3月9日から4日間で行われ、一般会計他9会計について活発な議論が交わされました。ここでは、栗石町第三次総合計画に基づく施策大綱について、重点事業等の質疑を特集として取り上げました。

学びを通して  
生きがいを感じるまち《教育》

いきいきと  
感じるまち《保健・医療・福祉》

**教** 【徳田委員】  
本年度、町の

小中学校で問題として浮上しているいじめ事案の発生は。

**答** 【教育次長】  
関係者を交

えて対応しなければならぬ事案の発生はある。様々なケースにより教育相談員等を交えて対応している。

**教** 【坂井委員】  
学力向上指

導事業は、児童生徒の個々に応じたきめ細かい指導体制を推進するところだが、具体的にどのようなように推進するのか。



3年連続で中止が決まったファミリーマラソン

**答** 【教育長】  
学力向上推進

監を配置して、個別の教科指導により理解力を深めることに重点を置いた取り組みを行う。さらに授業を中心として教師の指導力の向上を図る。

**教** 【岡本委員】  
生涯健康プロジェクトフィットネス

事業の内容は。

**答** 【政策推進課長】  
高齢者の

一体的な取り組みなどを保健福祉部門が中心となり、担当者会議、企画、運営など関係課が連携して進めていく。

**教** 【上野委員】  
岩手山ろくファミリーマラソンの来

年度の開催は。

**答** 【生涯学習スポーツ課長】  
本年5月開催予定の岩手

山ろくファミリーマラソンは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とする。

**保** 【坂井委員】  
婚活

イベント運営事業は、どのようなことを目的として、どのようなことを目指している事業か。

**答** 【総合福祉課長】  
少子化対策の一

環で、町の未婚の方を対象として年2回くらい婚活イベントを開催し、最終的には結婚に結びつけられることを目指している。

**保** 【横手委員】  
結婚

新生活支援補助金の活用実績と周知は。



今後は各地域で開催される敬老会

**答** 【総合福祉課長】補助金に関する相談はあったが活用実績はない。周知は町の広報やホームページで行っているが、今後、広く活用いただけるよう検討を加えながら取り組んでいく。

**保** 【古舘委員】来年度から敬老事業助成金を創設し、各地域で実施する敬老会に助成することとなるが、対象年齢を75歳以上と設定せず70歳以上とするなど弾力的に運用しては。

**産** 【福委員】未来へつなぐ農業応援事業補助金は、前年と比較してどのように拡充していくのか。

**答** 【総合福祉課長】75歳以上を対象として事業を実施したいと考えているが、今後、その都度精査をしながら事業を進めていく。

**保** 【金子委員】町が運営している保育所で大規模な修繕等を検討している施設は。

**答** 【子ども子育て支援室長】今年度は大規模な修繕の予定はない。大規模修繕については5か年計画の中で予定を立てて進めている。

## 産業を通じて豊かさを実感し 笑顔で稼ぐまち《産業》



自動化で未来へつなぐ雫石農業を

**答** 【農林課長】予算額を前年より増額したという意味合いでの拡充である。事業内容は農業後継者の育成、研修、

親元就農支援の継続、農産加工の機械等の導入への支援ということで、前年度より予算を増やした。

**産** 【大村委員】農業指導センターの組織機構を改編して、国や県からの職員派遣で、町の農業改良普及センターを設置しては。

**答** 【農林課長】農業指導センターは、農家を応援できる十分な体制であり、当面は今の体制でいく。

**産** 【杉澤委員】町産材利用促進事業費補助金は活用されていないようであるが、その理由は。

**答** 【農林課長】単年度ごとの事業で、新築される方々は年度をまたぐこともあり使いつらいという声もある。新年度に向けて要綱を改正して、年度をまたいだ場合でも活用しやすい制度に切り替えなければならぬと考えている。

**産** 【徳田委員】アウトドア観光基盤整備事業委託料は大きな予算を伴うが、どのようなことを目指しているか。

**答** 【観光商工課長】アウトドアの人気という観点から、2年にわたり行ったエンジョイパスポート等を合わせた

マップを作成するなどして町の自然の魅力を発信する事業として実施していく。

**産** 【西田委員】来年度、全国和牛共進会が開催されるが、町としての取り組み状況は。

**答** 【農林課長】10月に鹿児島で開催される全国和牛共進会へは、7月に行われる県の最終選考会で選抜された数頭の

が出場可能となることから、出場が決まった場合、9月補正で全国大会行きの予算を計上する予定で準備している。

**産** 【坂下委員】町の企業誘致の自然と調和した企業の誘致を進める」とあるが、この解釈と町の方向性は。



前回に続き出場が期待される全国和牛共進会



企業誘致された菊の司酒造雫石工場完成イメージ

**答** 【観光商工課長】地域の自然と調和した企業の誘致という考え方は、雫石の恵みや自然あるいは資源を活用できる企業の誘致を進めるとい

**産** 【坂井委員】畜産業費の永年牧草に係る戦略作物とである。雫石町企業立地推進ビジョンを定めて企業誘致に取り組んでいく。

**答** 【農林課長】雫石町地域農業再生協議会の産地交付金加算はあり得るとい

も示されている。令和4年度産については、すでにルールが確定しているため、令和5年度産については、今後検討をしていく。

**安** 【岡本委員】防犯交通安全施設設置工事の内容は、【防災課長】防犯交通安全施設設置検討懇談会において必要箇所を選定し、防犯街灯、赤色回転灯、防犯街灯付防犯カメラ等を設置するものである。

## 豊かで誇れる自然を守り育て子どもたちにつないでいくまち《環境》

**環** 【大村委員】生森山には国から払い下げを受けた記念碑や作業小屋があるが、手入れがされておらず荒れている。町の職員も掃除や刈り払いなど

**答** 【農林課長】七ツ森周辺の刈り払い業務は業者に委託しているが、その中で記念碑や作業小屋の刈り払いを年に1回行っている。今後、職員も対応したい。

をしては。

## みんながつながって安全に住めるまち《安全・安心》

**安** 【横手委員】消防団員の不足が懸念されているが、

【地域整備課長】補修箇所が多くなれば例年補正予算で対応しており、来年度においても状況に応じて補正予算で対応したい。

**答** 【防災課長】来年度から消防防災専門員1名を会計年度任用職員として配置し、

【横手委員】来年度から行う運転免許返納サポート事業の内容は、

消防団員の確保及び訓練を強化するなどの取り組みを行う。

【地域づくり推進課長】免許返納対策として、免許の返納者及び返納済みの方を

**安** 【若持委員】道路に穴が開くなど大変傷んでいる箇所が多く見られるが、この補修にかかる予算をどのように見

【町長】観光面では全国の中で北東北はあまり知られていない。まだまだPR不足であり、今後国内全域に向けて情報発信をしたい。

修にかかる予算をどのように見

【町長】観光面では全国の中で北東北はあまり知られていない。まだまだPR不足であり、今後国内全域に向けて情報発信をしたい。

【町長】観光面では全国の中で北東北はあまり知られていない。まだまだPR不足であり、今後国内全域に向けて情報発信をしたい。

議決結果等一覧

令和4年第2回雫石町議会定例会 | 議決結果等一覧 会期：2月24日(木)～3月16日(水)

議案等番号	議員名 件名	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	坂下栄一	上野三四二	議決結果
議案第3号	雫石町特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第6号	雫石町民憩の家鶯宿集会所条例の一部改正について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	●	●	可決
議案第11号	令和3年度雫石町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第12号	令和3年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第13号	令和3年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第15号	令和3年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第16号	令和3年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第17号	令和3年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第18号	令和3年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第21号	令和4年度雫石町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第22号	令和4年度雫石町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第23号	令和4年度雫石町御明神財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第25号	令和4年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第26号	令和4年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第28号	令和4年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第39号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(雫石町民憩の家鶯宿集会所)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第43号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(七ツ森地域交流センター)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※加藤議長は採決には加わりません。

★その他の議案、発議については、全議員が賛成いたしました。



# 「未来につなぐ」まちづくり 若者の移住定住や 少子化対策等を推進

令和4年3月定例会は、2月24日から3月16日までの21日間の会期で行われました。本定例会では、条例の一部改正及び廃止10件、補正予算11件、当初予算10件、その他14件を審議しました。

また、議員発議の「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を可決しました。令和4年度予算特別委員会（委員長：堂前義信、副委員長：徳田幸男）は、10件の当初予算を審議し、全て原案通り可決しました。

一般質問は、10人が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをいただきました。

## 令和4年度当初予算

会計名	予算額(対前年比)
一般会計	102億4,000万円 (2億5,000万円増)
国民健康保険特別会計	17億6,000万円 (6,100万円減)
御明神財産区特別会計	417万円 (996万2千円減)
簡易水道事業特別会計	1,378万7千円 (172万1千円減)
介護保険特別勘定特別会計	20億5,922万3千円 (7,802万2千円増)
介護保険介護サービス事業勘定特別会計	1,059万2千円 (60万6千円増)
栗石町立栗石診療所特別会計	3億7,593万7千円 (346万2千円減)
後期高齢者医療特別会計	2億200万円 (1,600万円増)
水道事業会計	7億2,978万9千円 (1億1,396万円増)
下水道事業会計	13億4,656万3千円 (1,237万9千円減)
<b>合計</b>	<b>167億4,206万1千円 (3億7,006万4千円増)</b>

若者向けの定住促進住宅用地の提供体制を検討  
アーチエリー射場整備、スポーツセンター（旧南畑小学校）環境整備  
昇瀬橋の架け替え事業を継続

令和4年度予算総額167億4206万1千円を可決



工事が進む昇瀬橋架け替え事業



## 「こ」が変わる

### 町民憩いの家鶯宿集会所条例の一部改正

町民の利用料金について、現在の年額世帯券（1世帯年額3770円）を廃止して、月額個人券（1人月額550円）を設けることになりました。



利用料金改定の町民憩いの家鶯宿集会所

### 町出産祝金条例の一部改正

出産祝金を支給する対象者を第3子以降としていたものを第1子からと拡大し、10万円の支給額の2分の1を商品券で給付していたものを全額現金給付することになりました。

### 町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の処遇改善を図るため、班長及び団員の年額報酬を国の基準額相当の額（班長は43000円、団員は37000円）に改定するほか、出勤報酬等の見直しが行われました。

### 町企業立地促進奨励事業費補助金交付要綱の制定

企業の立地を促進し、地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、企業が町内に工場又は事業所を新設する場合に企業が要する費用に対し、補助金（上限1億円）を交付することになりました。（当初予算に交付対象者：菊の司酒造株式会社、交付額50000千円を計上）

## 主な質疑

**Q** 古館議員 消防団員、班長の年報酬は改定されているが、団長、副団長、分団長等の改定についての検討経過は。

**A** 【防災課長】 処遇改善ということで、団員の報酬の改善がメイン、団長から部長までの年報酬の改定は県内大半が現状のままという実態や近隣市町村との協議等により現状維持とした。

**Q** 【若持議員】 橋場辺地整備計画に足湯の計画があるとと思うが、町で整備するのか。どの辺に整備の予定か。

**A** 【観光商工課長】 足湯の新設を計画しており、町で整備する方向で検討している。図面は未作成であるが、道の駅電石あねっこ敷地内の蕎麦屋の川寄りの近辺を検討中である。

## 討論要旨

町債が  
公債費を上回り、  
借金の積み増しでは

**反対**  
【西田征洋議員】

「こ」数年、町債が公債費を上回り、借金の積み増しになっている。借金増になる町の体質を解消する努力が必要である。コロナ禍で損失のある農家への補填が予算計上されていない。米価の大幅下落、水田活用の直接支払交付金の見直しに困る農家の離農がないように要望する。また、特別会計の国民健康保険の子どもの均等割の税金の免除等に課題がある。

ポストコロナを  
見据えた  
産業振興等の取り組み

**賛成**  
【徳田幸男議員】

限られた財源や資源の中、出産祝金として第1子から10万円の給付を創設したこと、若者向けの新たな定住促進住宅用地の提供体制の検討開始、アウトドアメニューのブランド化に向けた交流人口の拡大促進事業は高い効果を期待できる。セツ森の町有地や上長山の町有地の民間への貸付けによる企業誘致、昇瀬橋の架け替え工事など積極的な取り組みは大きな期待が持てる予算である。

# ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

ロシアによるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を脅かす、断じて容認することができない暴挙である。

このような力による一方的な現状変更は、明白な国際法違反であり、国際社会の秩序の根幹を揺るがすもので、看過できるものではない。

よって雫石町議会は、ロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議の意を強く表明するとともに、ロシア軍の即時、完全、無条件の撤退を強く求める。

昭和60年に雫石町が宣言している「非核平和都市宣言」に基づく、世界の恒久平和の実現を強く希求する。

以上、決議する。

令和4年3月8日

岩手県雫石町議会

## 指定管理

公の施設の指定管理者が決定

○雫石町老人憩いの家 鶯宿荘 (株)寿広(代表取締役 太野真二)に継続(指定期間2年)

○雫石町南畑地区農林産物処理加工施設

雫石創作農園組合(代表 福本幸子)に継続(指定期間4年)



南畑地区農林産物処理加工施設

○雫石町伝統文化保存伝承交流センター

雫石町伝統文化保存伝承交流センター管理運営委員会に継続(指定期間4年)



雫石町伝統文化保存伝承交流センター

○雫石町飲料水供給施設 (盆花飲料水供給施設)

盆花地区簡易給水施設利用組合(組合長 吉澤貞男)に継続(指定期間4年)

○しずくしいアグリサイクルセンター

新右手農業協同組合(代表理事 組合長 畑中新吉)に継続(指定期間4年)

○雫石町民憩いの家

鶯宿集会所

鶯宿温泉開発(株)(代表取締役 若林武文)に継続(指定期間4年)

○雫石町地域交流拠点施設

雫石町農村資源活用施設 (総合交流ターミナル施設) (株)しずくしい(代表取締役 大橋良二)に継続(指定期間4年)



道の駅 雫石あねっこ

○網張温泉ありね山荘

西山牧野農業協同組合(代表理事 組合長 松原久美)に継続(指定期間4年)

○雫石町総合運動公園

一般財団法人雫石町体育協会(会長 米田武美)に継続(指定期間4年)

○七ツ森地域交流センター

エネルギープロダクト(株)(代表取締役 丸山一孝)に新規(指定期間4年)

## 答申

人権擁護委員2名の推薦に適任であると答申

・氏名：林 秀一郎氏(再任)  
行政区：駅前  
・氏名：松 木 里子氏(再任)  
行政区：林崎

## 令和4年第1回臨時会 | 1月19日

令和4年第1回臨時会が令和4年1月19日開かれ、令和3年度一般会計補正予算(第8号)、栗石町役場庁舎空調改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて全員賛成で可決しました。

### ○一般会計補正予算(第8号)

補正前の額	補正額	計
110億3,539万円	2億5,663万3千円	112億9,202万3千円

### ■主な補正予算の内訳

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金 1億8,240万円
- ・主食用米生産者緊急支援追加給付金 1,849万4千円
- ・観光施設等感染防止対策事業支援金 800万円
- ・道路除排雪業務委託料(増) 4,700万円



令和3年度に新たに導入された除雪車両

## 主な質疑

**Q** 上野議員 食用米の生産者支援金は10㊦当たり2000円であるが、滝沢市の場合は5700円と報道があった。町の積算根拠は。

**A** 〔農林課長〕 出荷経費等の一部助成である。あきたこまちの概算金では10㊦当たり24000円程度の減額となっているが、町の財源としては、最大の支援と考えている。

**Q** 〔徳田議員〕 今年度は、降雪量が非常に多いが、通学路の安全確保の観点からグリーンベルトが敷かれている通学路の除雪は、グリーンベルトの確保に配慮し除雪しているのか。

**A** 〔地域整備課長〕 通学路のグリーンベルトは町内に3か所であるが、学校の冬休み明けに合わせてグリーンベルトを中心に排雪作業をしている。通常はグリーンベルト優先ではなく、グリーンベルトを含めた通学路全体の作業として実施している。

## 一般質問 って何?



特集  
教えて、  
議会のこと!  
No.3

一般質問って何?



※一般質問は、議員が町政に関して報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするもので、大事な議員活動です。

年4回(原則、3月、6月、9月、12月)の定例会ごとに実施しており、臨時会ではできません。

**事前通告** 議員は、開会日10日前までに文書で通告することになっています。

**持ち時間** 議員一人につき、60分以内と設定しています。  
その中で、質問と町長からの答弁、再質問とそれに対する答弁を行います。

**質問順** 抽選で決定します。

ここが  
聞きたい

# 一般質問

町政を問う  
10議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

12  
ページ

学校等の要望が十分反映  
された交通安全対策を

質問者／<sup>とく た ゆき お</sup>徳田幸男 議員



14  
ページ

中高生交流促進の  
取り組み状況は

質問者／<sup>かね こ かず お</sup>金子一男 議員



14  
ページ

企業立地の事業概要  
及び規模は

質問者／<sup>おか も と た だ み</sup>岡本忠美 議員



14  
ページ

令和4年度予算編成の方針は

質問者／<sup>すぎ さ わ と し あ き</sup>杉澤敏明 議員



**町長** 検討しながら整備を進める

**Q** 通学路の交通安全確保に特化した補助制度が来年度から創設されるが、補助制度の前提となるものは合同点検で抽出された対策、必要箇所への補助である。

合同点検で抽出した対策箇所は、学校・行政区・町民等からの要望が十分反映されているか。

**A** 対策必要箇所の要望については、栗石町通学路等安全推進連絡協議会において協議し、学校や行政区、町民等からの要望を把握して抽出している。

学校等の要望が十分反映  
された交通安全対策を

質問者／<sup>とく た ゆき お</sup>徳田幸男 議員

お酒、タバコは二十歳になってから。



16  
ページ

## コロナ後のまちづくり、 どう取り組むか

質問者／おおむらしょうとう  
大村昭東 議員



16  
ページ

## 新型コロナワクチンの65歳以上の 三回目接種の終了見込は

質問者／にしだまさひろ  
西田征洋 議員



16  
ページ

## 町のICT教育の実現とは

質問者／どうぜんよし のぶ  
堂前義信 議員



18  
ページ

## メタボリックシンドローム ワースト1脱却を

質問者／うわのみよじ  
上野三四二 議員



18  
ページ

## 移住希望者への対策は

質問者／はば ひでや  
幅 秀哉 議員



18  
ページ

## 栗石農業をどう進めるか

質問者／いわもちきよみ  
岩持清美 議員



### 児童からのアンケート調査を

**Q** 対策必要箇所の抽出方法については、実際に通学路を通っている児童からの意見や要望を聞いて反映させることが効果的であると考えますが、アンケート調査は実施しているか。

**A** 子どもたちに通学路での様々な声を聞いて危険箇所を確認したり、アンケート調査を実施している。危険箇所については、一人ひとりの子どもたちから感想を聞くように各学校では努力をしている。

### 来年の成人式は

**Q** 民法の一部を改正する法律により、成人年齢が20歳から18歳へと引き下げられたが、来年の成人式は従来どおり20歳の方を対象として成人式を行うのか。

**A** 18歳で成人式をやるということは考えていない。名称は検討中であるが、「二十歳のつどい」というような形で実施したいと考えている。



歩道の設置が待たれる通学路

栗石高校への町の手厚い支援がどれだけのの人に知られているのか。

質問者／金子一男 議員



## 中高生交流促進の 取り組み状況は

**教育長** コロナ禍であるが引き続き学校と協議しながら支援する

**Q** 栗石高校将来ビジョンについて、中高生徒間交流促進に絞って見直しをしたが、その後の取り組み状況と課題はどうか。

**A** 新型コロナウイルス感染症に伴う感染拡大防止のため新たな取り組みは実施できなかった。栗石中学校生徒会と栗石高校生徒会合同のあいさつ運動を実施したほか、栗石中学校3年生が栗石高校を訪れ授業の様子を参観した。課題は両校で開催できる日程調整が困難であった事。来年度は早い段階で協議して進められるように支援する。

栗石工場で作る菊の司酒造のお酒、早くのみみたいなあ。

質問者／岡本忠美 議員



## 企業立地の事業概要 及び規模は

**町長** 酒造工場及び事務所を建設する

**Q** 長山地内町有地（※地図参照）への企業立地に伴い、工場の事業概要及び規模は。

**A** 菊の司酒造株式会社が工場を新設する計画がある。用途としては酒造工場及び事務所を建設し、操業開始後の従業員数は15名を想定し、うち5名については町内在住者の雇用を確保する計画である。

アーチェリー射場完成後、大会、合宿等で賑わうことを期待します。

質問者／杉澤敏明 議員



## 令和4年度予算 編成の方針は

**町長** 町民ニーズに的確に対応し、重点事業を鋭意執り進める

**Q** 令和4年度予算の重点事業は。

**A** 鶯宿温泉スポーツエリア推進事業として、旧南畑小学校アーチェリー屋内射場整備工事費3億4276万円、同じく旧南畑小学校多目的ホール等整備工事費3613万5千円、アーチェリー屋内射場整備工事監理業務委託料14336万6千円などを計上。

## 部活動体験などの取り組みは

**Q** 雫石高校には郷土芸能委員会やボート部があり、素晴らしい成績を収めた実績がある。中学生との部活動の体験などの取り組み状況はどうか。

**A** 雫石高校では中学生一日体験入学の際に郷土芸能委員会の活動紹介が行われ、目の前で演舞する様子を参観することができた。希望する生徒にはボート部員による水上スポーツ体験を予定していたが、希望者がいなかったため体験活動は実現しなかった。

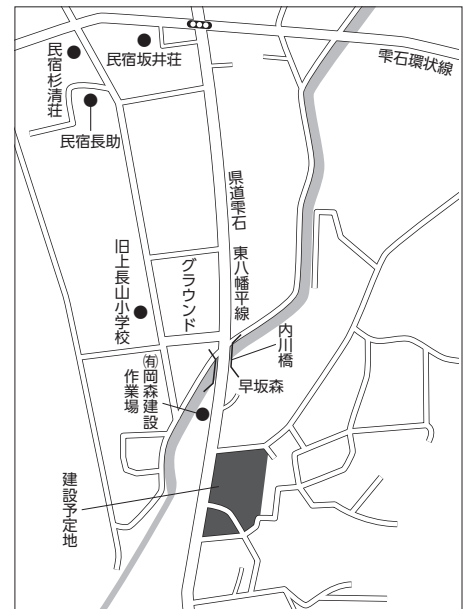
## 公営塾の実施状況は

**Q** 令和3年度、中高連携の公営塾を開設し取り組んでいるが、実施状況はどうか。

**A** 参加を希望した雫石高校及び雫石中学校の生徒が、延べ23日間において専門講師による数学と英語の講義と課題学習の指導を受けた。



中学生と交流が進む雫石高校



**Q** 町への経済効果は。

**A** 新たな就業の場が生まれ、町民の雇用機会が確保される。町内事業者との連携による新たな特産品の開発や、酒造工場の見学会など観光資源として誘客も期待される。町内の事業者の新たなビジネスチャンスが生まれ地域の活性化につながる。

## 農業振興の取り組みは

**Q** 農業者に対し経営継続支援は。

**A** 主食用米生産者に対する緊急支援対策や、国や県の各種施設設備導入事業、水田活用の直接支払交付金による支援を行っている。今後は国や県、関係機関や団体の動向を注視し、情勢を踏まえ必要な支援を行う。

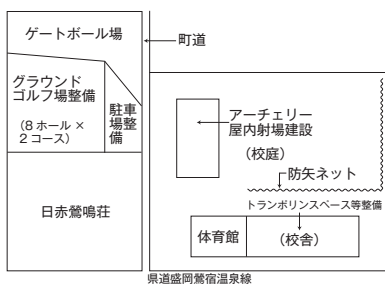
## 移住定住と少子化対策の推進は

**Q** 令和4年度の重点事業として、若者の移住定住、少子化対策とあるがその理由は。

**A** 令和3年度、町内の出生者数が50人前後となつている。町の将来を考えると、子育て世代の移住定住に力を入れることで少子化対策にもつながると考え、重点事業とした。

**Q** 鶯宿温泉スポーツエリアを魅力化する具体策は。

**A** アーチエリーの屋内射場は、全天候型の長距離射場であり、合宿など選手育成に向けた活動の場として整備する。校舎は、トランポリン常設のスポーツ施設として、体育館は、小・中学生がバスケットボールのスキルアップができる場所として活用。アスリートにとって魅力ある場所となることから、合宿や大会を誘致することにより鶯宿温泉の振興につながるよう努める。



鶯宿温泉スポーツエリア整備計画図  
(旧南畑小学校校舎等の整備計画図)

農福連携、障がい者福祉農園、政策実現望む。

質問者／大村昭東 議員



コロナ後のまちづくり、どう取り組むか

町長 住民の参加と関係機関・団体と協働し進めていく

Q 「地域の未来」そのものである子どもや若者、子育て世代をどう守っていくのか。

A 新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動におけるリモート化、オンライン化の進展に代表される新しい生活様式の確立や行動変容が起きている。このような変化の激しい時代に子どもたちや若者、子育て世代を守り、まちづくりを進めていくには住民、民間及び行政がまちづくりの理念を共有し、連携や役割分担を明確にすることが重要である。

子ども達へのコロナウイルスワクチン接種、早くやって!!

質問者／西田征洋 議員



新型コロナワクチンの65歳以上の三回目接種の終了見込は

町長 3月中旬と見込んでいる

Q 65歳以上3回目のワクチン接種が始まったが、終了見込はいつごろか。

A 3回目接種は町内5医療機関で個別接種として1月31日から実施している。終了時期はおおむね3月中旬と見込んでいる。水田活用の直接支払交付金制度の見直し、町の対応は

Q 2022年度から水田活用の直接支払交付金制度が見直されたが、町はどう見ているか。農家全体の収入減収額は。

DMO成功のカギは人。OJTに頼らない観光人材の育成が重要だ。

質問者／堂前義信 議員



町のICT教育の実現とは

教育長 情報活用能力を育成する

Q ICT活用とは、具体的にどのようなことを目指すのか。

A 子どもたちが、自分から調べてみたい、学んでみたいということに、端末を利用する授業が、子どもたちにとって教育レベル、教育効果が高いものとなっていくと考えている。





## 未来を先取りする農山村づくりは

**Q** 農山村を取り巻く厳しい現実を見据え、コロナ後を先取りした、暮らしを支える農山村づくりをどう進めるのか。

**A** 新たな作物を導入しようとする生産者、作業効率を上げるために農業機械の自動化に取り組み生産者、地域が主体となりほ場の大区画化や鳥獣被害対策に取り組んでいる組織を今後も支援していく。

**Q** 減反が強化される中で、栽培規模の大きな生産者や生産組織、団体に一定規模の面積の作物に取り組んでいただき、新たに賛同者による会員制の互助制度組合をつくってはどうか。

**A** 農地の貸し手と借り手の関係が成り立たなくなってきたり、今までの状況は大きな課題と考えている。課題解決のため、今後検討していく。



町内でも徐々に進む農業機械の自動化

**A** 飼料用米の複数年契約加算無し、5年間水稲栽培をしない場合の交付対象水田からの除外、永年性牧草は播種しない場合は減額となるなどの制度改正は農家への周知期間がなく、生産現場では農業経営継続を懸念している。町としても国に現場の声を伝えるとともに詳細要件を確認している。令和3年度取組実績から農家全体の試算で、約1億7600万円の収入減少となる。

**Q** 高齢者へ難聴対策として補聴器購入費補助は必要ではないか。



持続可能な農業に

## 高齢者への補聴器購入支援は

**A** 各窓口や自宅訪問時に相談があれば必要に応じて医療機関の受診を勧めている。受診結果が難聴の場合、身体障害者手帳交付手続き後、補装具費支給制度により、補聴器購入費用を支給している。

**Q** ICT環境はこれからも変わっていくが教育現場では混乱しないか。

**A** ICT教育は、今後子どもたちがICTを使いながら生きていくうえで大事な教育の役割だと思う。その意味でも先生方に指導力の差が出ないように取り組んでいく。

## 地域活動活性化起業人の活動状況は

**Q** 令和3年度から派遣された地域活動活性化起業人の活動状況は。

**A** 今年度地域活性化に向けこの制度を活用し2社から1名ずつの計2名派遣されている。1名は「株式会社ルネサンス」から派遣され、鶯宿温泉スポーツエリア振興計画の策定や生涯健康プロジェクトに基づく町民の健康増進を担当している。また、もう1名は「ANAあきんど株式会社」から派遣され、観光事業の他、ANAグループとの連携体制の整備を担当している。



御所小のタブレットを活用した授業

統一した健康管理  
台帳を作り、健康  
維持・改善指導  
やってよ。

質問者／<sup>うわのみよじ</sup>上野三二一議員



## メタボリックシンドローム ワースト1脱却を

町長 最重要課題と捉えている

**Q** メタボリックシン  
ドローム、高額医  
療ワースト1脱却を。

**A** 後期高齢者の健康  
が特定健診受診率は目標  
値を下回っている。特定  
保健指導を行っているが  
実施率が低い傾向で生活  
習慣の改善に結びついて  
いない。令和3年度より、  
健康づくり動画を作成し

後期高齢者医療にかかる1人あたりの医療費の推移

順位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	市町村	医療費(円)	市町村	医療費(円)	市町村	医療費(円)
1	雫石町	933,751	雫石町	936,696	雫石町	912,912
2	盛岡市	881,405	盛岡市	892,506	矢巾町	900,062
3	西和賀町	867,520	大槌町	882,342	盛岡市	864,380
4	滝沢市	853,488	滝沢市	865,085	大槌町	859,335
5	矢巾町	851,963	矢巾町	853,105	紫波町	840,194
	県平均	763,692		772,923		755,225

※岩手県後期高齢者医療広域連合作成「岩手県後期高齢者医療の概要」より抜粋

学校と家庭、福祉が  
連携すれば、子供た  
ちを救える・・・はずな  
んですが。

質問者／<sup>はば</sup>幅  
<sup>ひでや</sup>秀哉議員



## 移住希望者への 対策は

町長 住居が必要な要素

**Q** 移住希望者は住居があることが絶対条  
件と考えている。町はどう捉えている  
か。

**A** 移住に際して気がかりになっているこ  
ととして、住居を挙げた割合が約4割  
を占めている。移住定住対策には住居が必要  
な要素の一つであると捉えている。

**Q** 子育て世代を対象を絞り空き家等のリ  
フォームや町営住宅の新築など住環境  
を整備し、家賃低減化などの施策は。

**A** 空き家改修等補助金は、子育て世代が  
利用する場合は、補助額を上限50万円

水田活用の直接支払  
交付金の見直し。農  
家は怒り心頭。

質問者／<sup>いわたちきよみ</sup>岩持清美議員



## 雫石農業を どう進めるか

町長 持続可能な地域農  
業の維持、発展に努める

**Q** 令和4年度に向けた転作方針は。

**A** 令和3年度産実績からさらに約63ヘ  
クタールの転作を求められている。転  
作物として飼料用米を推進し、併せて農家  
個々に取り組んできた転作物物の維持継続を  
支援していく。

**Q** 国から減反、転作の水田活用の直接支  
払交付金の制度見直しが発表されたが。

**A** これまで国の需給調整のため転作に取  
り組んできた現場の意見を踏まえ、関

インターネットで配信しているほか、あらゆる機会を通じて健康への関心を高める意識啓発を行うっていく。

医療費適正化の取り組みとしては、多剤投薬等に対する健康状態の確認や保健指導を実施するなど、保健師による対象を絞った個別指導を行う。

## 公募している医師の専門科目は

**Q** 町立診療所で医師一人を公募しているが、専門科目は。

**A** 募集要項では、特に科目を特定していないが、町民の疾病状況を見ると内科系の高血圧症と糖尿病、脂質代謝異常症や整形外科系の四肢や関節の慢性疾患、外傷が増えている。このような疾患に対応する科目が必要と考えている。

## 現体制での往診対応は可能か

**Q** 新型コロナウイルス感染症の予防ワクチン、治療薬が将来各医療機関で使用されることとなった場合に現診療所の体制で往診対応は可能か。

**A** 国、県の指針に基づいて診療を行うが、季節性インフルエンザと同等の分類になれば、現体制でも往診対応は可能と考えている。

から100万円に増額して支援している。町営住宅の整備については、現在の新高前田住宅の場所に集約して、多様な世代のニーズへ対応した住宅の整備を計画している。



移住定住を支援するため整備を検討している町営住宅

## 要保護児童<sup>※</sup>の調査は

**Q** 要保護児童に該当する児童生徒の調査結果は。

**A** 町保護児童対策地域協議会として現時点で把握しているのは、保護者からの身体的虐待等の疑いの支援対象は22件、要支援児童として支援必要家庭のケースは27件である。

<sup>※</sup>要保護児童…保護者に監護させることが不適当であると認められる児童及び保護者のいない児童

係機関や団体とともに新制度の見直しを国に強く訴えていく。

**Q** 農地維持の施策は。

**A** 今回の制度見直しに伴い、農地の遊休化や荒廃化が懸念される。農業委員会をはじめ、岩手県農業公社や土地改良区を中心に対策を講じていく。

## 消防団員の待遇改善は

**Q** 消防庁は令和4年度から消防団員の待遇改善を指示したとしているが、どう変わるか。

**A** 令和4年度から団員報酬や支給方法の見直しを行う。今後は消防団と協議し、今の時代に合わせた消防団行事の見直しや処遇改善と負担軽減による、入団しやすく活動を継続しやすい環境を整えていく。



町民の命とくらしを守る消防団

## 総務産業常任委員会

[大村昭東委員長]

調査  
1

### 経済支援 コロナ禍における 宿泊・飲食事業者

3月4日、所管課である観光商工課より宿泊・飲食事業者に対する今後の経済支援を聞き取り調査しました。「いわて旅応援プロジェクト」同様に、観光客の宿泊代金等の割引を検討しています。「歩く観光資源」掘り起こしのためトレッキングマップを作成し、町内の消費につなげる計画である事を確認しました。

調査  
2

### 雫石版観光地域づくり法人(DMO) 今後の取り組み

3月4日、所管課である観光商工課より雫石版DMOの取り組みについて、聞き取り調査しました。「リマーケティング広告事業（一度WEBサイトに訪れたユーザーに対し広告を表示させてピンポイントにアプローチを行う事業）」や、日本山岳ガイド協会の資格取得など登山ツアー旅行商品の拡充と併せて、3年以内に観光庁から示されている「登録DMO」の取得要件を満たしていく予定です。

調査  
3

### 令和3年度運営状況 しずくいしアグリリサイクル センター視察

3月4日、しずくいしアグリリサイクルセンターの運営状況、今後の課題などの説明を受けました。令和3年度運営状況は、利用農家数に変化はないが受入量が減少した一方、良質な堆肥が生産され、売れ行きは好調であったとのことです。課題としては施設・機械・車両等の老朽化による稼働停止や修繕費の増大が挙げられました。



売れ行きが好調な堆肥

調査  
4

### 管理状況 コテージむら管理センター視察

3月4日、コテージむら管理センターの活用状況を確認しました。コテージむら住民の集会・サークル活動の場として活用され、農業公社主催のいわて新農業人チャレンジファームや「雫石町体験農園」貸農園の利用状況も確認しました。

## 教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

調査  
1

### タブレット端末の活用 西山小学校の状況と課題

1月21日、西山小学校でのタブレット端末を活用した授業を視察見学してきました。はじめに菊池春夫校長から活用状況や課題などの説明を受け、実際に教室での授業を視察しました。課題としては町内5校のどの小学校でも同じレベルのICT教育が受けられるよう、先生方の連携が必要なことと、多くの端末をインターネットに接続した際、通信速度が遅くなるといった事が挙げられました。

また、西山小学校のトイレ改修が完了したので合わせて視察しました。とても明るく広く改修されました。



ICT教育で変わる授業風景

調査  
2

### 放課後児童クラブ 七ツ森学童保育 「もりもりクラブ」完成

1月21日、七ツ森小学校敷地内に完成した放課後児童クラブ「もりもりクラブ」を視察しました。これまで七ツ森小学校の放課後児童クラブは小学校から離れた東町団地内にあり、利用する児童たちの安全性が問題視されていました。これを解消するため以前、御所小学校で放課後児童クラブとして利用されていたプレハブを七ツ森小学校敷地内に移設し活用しているものです。施設が学校敷地内となり児童たちも安心して利用できています。



移設で親も子どもたちも安心して利用

## 広報広聴常任委員会

【古館謙護委員長】

### 議会だより 第36回町村議会広報全国コンクール 金賞受賞

しずくいし議会だより第117号が表紙デザイン賞で、全国1位の金賞を獲得しました。全国317町村議会から応募があり、その中からの栄冠でした。ご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。

○令和4年1月11日、17日、20日

議会だより第120号編集会議を開催。また、議会報告会の開催に向け検討しました。

○令和4年1月27日

議会だより第120号発行。

○令和4年2月17日

議会だより第121号の編集について協議しました。

○令和4年2月24日

議会だより第121号の割り付け及び閉会中の継続調査について協議しました。



全国1位

## 議会運営委員会

【杉澤敏明委員長】

協議  
1

### 議会モニター会議

1月31日に開催の議会モニター会議の意見等について協議、検討し、対応等の回答を取りまとめ、2月17日の議員全員協議会に報告、協議後、2月22日にホームページに「議会モニター会議の意見等に係る回答」を掲載しました。

協議  
2

### 議会検証会実施要領

議会検証会実施要領について協議し、検

証会用アンケートに「定例会の反省事項」、「その他」の項目を加えることなどの改正を取りまとめ、議員全員協議会に諮り、議員全員の賛成を得て、本3月定例会の検証会から実施することとしました。

協議  
3

### ウクライナ侵攻に対する抗議の決議

ロシアによるウクライナ侵攻に対し、抗議の意を表明するための決議について協議し、議員全員協議会に諮り、議員全員の賛成を得て、3月8日の定例会で全員起立により可決しました。

## 議会に提言！ 議会モニター

令和4年1月31日に栗石町議会モニター会議が開催され、町民に開かれた議会、分かりやすい議会を目指していくうえで、とても貴重なご提言を頂きました。

今後のご提言等を活かしながら、円滑な議会運営に取り組んでいきたいと思えます。

主な意見と回答は、下記の通りです。

#### ■本会議・委員会の傍聴環境について

公開非公開は、誰の権限で決まるのか。定例会の議事録は公開されているが、全協等の議事録はどうなっているか。

会議の公開非公開の決定は、議長又は会議の長が会議に諮って決めています。全協等の議事録は、作成していますが要点筆記としています。

#### ■議会ホームページについて

一般質問で同じ内容の質問が多い。事前に調整して、別の質問に振り分ける等の調整は出来ないか。

会派がなく、代表質問が出来ないという現状があります。同じ質問が重なることは、課題として捉えていますので、今後、議会運営委員会で検討していきます。

#### ■インターネットによる議会中継

議会中継のホームページ掲載の状況は。

オンラインで生中継するほか、開催日から2週間以内に録画を掲載しています。

#### ■議会だよりについて

特集ページもこれまでの取り組みを掲載するとともに町民の意見を聞いており、非常に良い。町民の意見を掲載すれば、少なくともその人は広報に目を通す。自分たちの広報誌と認識する。一般質問のページも以前より見やすくなった。

これからも、できるだけ町民の皆様にご参加していただくよう広報編集に努めます。

#### ■議会として取り組むべき政策課題について

青年議会、子ども議会等開催しては。前回の開催から10年以上経過している。町民の意見を取り込む時期に来ているのでは。

町当局とも相談し、検討していきます。

#### ■その他

2020年に施策評価や議会改革を行い評価シートを公表しているが、2021年は。

2021年も実施しています。議会の自己評価シートは、8月頃の公表を予定しています。



みかわ なおき  
三河 直樹さん (45歳・町場)

## 川遊びが楽しめる矢櫃地区水辺園地

御所湖広域公園矢櫃地区水辺園地は、矢櫃川の清流を活かした水辺空間2カ所と周辺を取り巻く林で構成されています。夏は絶好の川遊びスポットで、子ども連れの家族で賑わっています。今、自然の川で遊べる場所は、正に「しずくいしの宝物」だと思っています。



けむやま ちあき  
煙山 千秋さん (39歳・鶯宿)

## 自然と町に住む人

きれいな自然と雫石に住む人が好きです。たくさんのきれいな山や四季折々の美しい景色。この町に住む家族のような温かい人たちが好きです。町にはたくさんの魅力ある物・場所・人々であふれています。きれいな自然と温かい人たちであふれるこの町に私は夢中です。



No.16

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて  
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は？」です。



さくらだ みちこ  
櫻田 美智子さん (54歳・駒木野)

## わくわくする町 しずくいし

岩手山をはじめ、豊かな自然に恵まれて春は山菜、新緑、田畑には一年の作物が植えられ、鏡のような水田。梅雨になれば綺麗な虹、夜はホタルが飛び回る。秋は紅葉、キノコ、あっという間に一年が過ぎ去ってしまうほど楽しい町。季節を感じながら暮らせるところが宝物。最後に夜の星空も鮮やかですよ。



さとう ひでし  
佐藤 英士さん (59歳・林)

## 元気な子どもたち

雫石の宝物はと聞かれば、やはり元気な子どもたちだと思います。元気に遊んでいる孫の姿を見ていると、自分も元気になりますし、明るい気持ちになります。将来、この子どもたちがこの町を元気に明るくしてくれることを期待し、成長を見守っていきたいと思います。



在京雫石町友会会員 **坂井 康男**さん

## ふるさとの思い出

私は西山村五区の右門治（屋号）で生まれた。国民学校に入学して間もなく太平洋戦争が始まった。物資不足で入学時の服装はまちまちで和服と下駄履きの人もいた。学校屋内は草履ばきが多く冬も裸足の人もいた。登校し校門をくぐると左手に安置している奉安殿（天皇陛下の写真を置いてある所）に再敬礼してから校舎に入った。終戦近くなると村の上空にもB 29が飛来してきた。白壁は空襲されるからと、終戦一日前に黒ペンキを塗った家もあった。戦後は食料不足で生徒も集団で荒地を木の根っこを引き抜いて開墾しそばをつくりました。学校ではたまに無声映画がきて先生が活動弁士をしてくれ紙芝居も学校巡回してくるのが楽しみだった。敗戦後小岩井農場に天皇陛下の行幸があり全生徒が動員されたが頭を下げたままバンザイしたので顔をみなかったのが残念です。私が住む秦

野市は神奈川県西部に位置し、新宿から小田急線で1時間程度、丹沢を背に登山も楽しめます。サラリーマン生活を終え、現在はテレビでのスポーツ観戦や散歩が日課です。最後にふるさと雫石町の発展を祈念しております。



秦野市街の眺望（中央は富士山）

昭和9年生まれ。国民学校—西山中学校—盛岡—高雫石分校—岩手大学—神奈川県職員—(株)ダイヤコンサルタント—(株)フロンティア土木設計事務所。神奈川県秦野市在住。



在京雫石町友会副会長 **澤藤 隆一**さん

## ふるさとへの便り

在京雫石町友会もコロナ禍で会合できず、ただでさえ高齢化が進むふるさと会にあって、このまま会えないうちに体調がすぐれなくなる人が出るのではと心配している。感染が収まった昨年12月初めに青森市の幸畑墓苑に大叔父兼松の墓参に出掛けた。120年前の陸軍青森歩兵第五聯隊「八甲田山雪中行軍訓練」で210人中199人が死亡、多くは岩手県人だった。墓石の配列は、見事に当時の階級そのもので、大きさも階級に応じて大～中～小となっていた。青森市に宿泊し、翌日帰るのにはやぶさではなく、奥羽本線特急つがる号で秋田経由、こまちで帰ることにした。八甲田山や岩木山を眺めつつ、大曲で進行方向が変わって岩手に入ると明るさが一変、車窓に張り付きになった。駒ヶ岳から高倉山、犬倉山、鬼ヶ城を経て岩手山頂からスーッと下る稜線、雫石はなんと美しいのだろう！

いま住む埼玉県ふじみ野市では環境審議会委員ほかボランティアさんまい。岩手大学の経営協議会委員も6年務めているが、大学経営は大変厳しい状況に直面している。コロナが無ければ頻りにふるさとに通い出を楽しむが、SNSで代替しながら今度行くときは長山のカフェや蕎麦を楽しもうと決めている。



幸畑墓苑

昭和25年生まれ。御所・安庭出身。埼玉県ふじみ野市在住。安庭小→御所中→盛岡一高→岩手大学工学部卒→(株)チノー、在京盛岡広域産業人会創設会長、雫石町観光大使

# 雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった ／

ひらおか たく や  
平岡 拓也さん (26 歳) | 和野 | ※秋田県仙北出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 共通の知人を通じて。

Q 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

A スポーツが盛んです。

Q 町に望むことは？

A 商業施設の発展と学生や高齢者が使用しやすい交通の便の改善。老若男女問わず、暮らしやすい町になってほしいと思います。



自宅のリビングにて  
後列左が妻の瑠璃さん (旧姓：岩持・25 歳)  
前列左：彪人さん (6 歳)  
前列右：心結さん (4 歳)

## なかよしシリーズ⑩

今月の  
表紙

写真左から  
長女 結羽さん (7 歳)  
三女 希渉さん (1 歳)  
二女 羽希さん (5 歳)



いせゆうき あや  
伊勢祐記さん、亜弥さん (片子沢) のお子さんの  
とてもかわいい 3 姉妹です。

将来の夢は何ですか？

長女 結羽さん (7 歳)：看護師さん  
二女 羽希さん (5 歳)：駄菓子屋さん  
三女 希渉さん (1 歳)：元気なやさしい子  
(両親の願い)

## 情報公開

### ● 議長交際費執行状況

【議長交際費とは】 【議長交際費内訳 (1 月～3 月)】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費		お祝い、会費	
	件数	金額	件数	金額
1 月	0 件	0 円	2 件	8,000 円
2 月	0 件	0 円	0 件	0 円
3 月	1 件	22,000 円	0 件	0 円
合計	1 件	22,000 円	2 件	8,000 円

※議会の動きは HP に掲載しています。

### ■ 編集デスク

このたび、しずくいし議会だより No.117 号が全国町村議会広報コンクール (令和 3 年度) において、「表紙デザイン部門」で名誉ある金賞 (第 1 位) を受賞しました。昨年度、議会だよりを大幅にリニューアルした結果を評価して頂き大変嬉しく思っています。また、これまで表紙写真にご協力をいただいた方々に改めて深く感謝申し上げます。

今後もより一層「見やすく」「わかりやすく」「手に取ってもらえる」議会だよりとなるよう努力していきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

(広報公聴常任委員 横手寿明)

発行責任者 (議長) / 加藤真純  
編集委員長 / 古舘謙護  
副委員長 / 坂井尚樹

編集委員 / 横手寿明・幅 秀哉  
岡本忠美・徳田幸男  
金子一男